

平成 29 年度 明るい家庭づくり運動に関する作文募集要領（第 52 回）

1 趣旨

次代を担う青少年を健全に育成するためには、家庭の果たす役割が極めて大きいことから、県では毎月第 3 日曜日を「家庭の日」と定め、県民挙げての明るい家庭づくり運動が行われているところである。

この運動を広く県民に知ってもらい、実行してもらうため、県内の小学生から明るい家庭づくり運動に関する作文を募集し、家族・家庭のあり方について考えるとともに、青少年の健全育成を図るものとする。

2 主催

新潟県・新潟県青少年健全育成県民会議

3 後援

新潟県教育委員会・新潟日報社

4 応募対象

県内の小学生

5 テーマ

『明るい家庭』 明るい家庭の様子が具体的に思い浮かぶもの

- 例：・大好きなおにいちゃん(家族) ・家庭の中での私のしごと
・働くお父さんお母さん ・家族そろって〇〇に参加して
・我が家の自慢 ・家族への感謝の手紙
・わが家の家庭の日の過ごし方 ・よりよい家庭生活にするための提案
・わが家と近所の家族とのあたたかい交流 等

題名は、自由だが、必ずつけること。

6 原稿枚数

小学校低学年・・・400字詰原稿用紙1～2枚

小学校中学年・・・400字詰原稿用紙2～3枚

小学校高学年・・・400字詰原稿用紙3～4枚

※ 原稿は原則として、縦書き・手書きとする

7 応募方法

(1) 学校で取り組む場合の応募

各学校で原稿を取りまとめ、応募送付表を添付のうえ、新潟県福祉保健部児童家庭課に送付すること。応募数は問わない。

(2) 上記の方法によって応募できない場合

作品を新潟県福祉保健部児童家庭課に直接送付すること。

8 応募期間

平成 29 年 12 月 1 日（金）から平成 30 年 1 月 18 日（木）まで

9 表彰

小学校の低学年、中学年、高学年の部門別にそれぞれ最優秀賞（県知事）、優秀賞（県知事）、奨励賞（新潟県青少年健全育成県民会議会長）、新潟日報社賞（新潟日報社代表取締役社長）を各 1 編並びに佳作（新潟県青少年健全育成県民会議会長）若干数選定し、表彰する。

10 審査員

新潟県福祉保健部児童家庭課長

新潟県教育庁義務教育課長

新潟県教育庁生涯学習推進課長

新潟県青少年健全育成県民会議会長

株式会社新潟日報社代表取締役社長

11 審査決定等

平成 30 年 2 月前半に優秀作品を審査の上決定し、市町村長（教育長）及び所属学校長に通知する。

また、最優秀賞、優秀賞、奨励賞及び新潟日報社賞受賞者に対し、賞状、副賞（図書カード）及び記念品を授与する（表彰式は 2 月後半に実施し、審査結果と併せて通知する）。

最優秀賞（各部門 1 名）・・・賞状、図書カード 5,000 円分、記念品

優秀賞（各部門 1 名）・・・賞状、図書カード 3,000 円分、記念品

奨励賞（各部門 1 名）・・・賞状、図書カード 2,000 円分、記念品

新潟日報社賞（各部門 1 名）・・・賞状、図書カード 2,000 円分、記念品

佳作（各部門若干名）・・・賞状、図書カード 1,000 円分

12 その他

(1) 氏名等の明記

原稿用紙の1行目に題名、2行目に学校名・学年、3行目に氏名（漢字・ふりがなを明記。氏名等が漢字で記入できない場合はゴム印または保護者が記入する）、4行目から本文を記入すること。

原稿には、それぞれページを表示すること。

(2) 送付の方法

各学校で原稿をとりまとめのうえ、別添の応募送付票を添付して送付する。

(3) 送付先

新潟県福祉保健部児童家庭課青少年育成係

(〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1 電話：025-280-5214)

(4) 作文集の刊行

優秀作品を作文集として取りまとめ、平成30年3月に受賞者及び県内全小学校に送付する。

(5) その他

- ・応募作品は返却しない。
- ・応募作品の著作権は主催者に帰属する。
- ・提出期日を厳守すること。

(新潟県福祉保健部児童家庭課青少年育成係あて)

別紙

平成29年度 明るい家庭づくり運動に関する作文 応募送付票

※学校名を記入してください。(例:〇〇市立△△△学校)

学校名 _____ 小学校

担当教諭名 _____

電話番号 _____

学 年	応 募 数
小学校1年生	編
小学校2年生	編
小学校3年生	編
小学校4年生	編
小学校5年生	編
小学校6年生	編